

BUSINESS REPORT

へんしもの

第42期

[平成24年4月1日～平成25年3月31日]



パウダークリーン
SQ-16DVYT



兼松エンジニアリング株式会社

証券コード：6402



代表取締役会長
山口 隆士



代表取締役社長
佃 維男

CONTENTS

- 1～2 株主の皆様へ
- 3 財務ハイライト
- 4 財務諸表
- 5～6 事業概要
- 7 製品トピックス
- 8～9 トピックス
- 10 会社情報

ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、第42期決算のご報告として「BUSINESS REPORT へんしも」をお届けいたします。

【営業の概況等】

当期における我が国経済は、停滞状態から昨年末頃より外国為替動向の変化が見られ、景気の回復傾向が伝えられるようになりました。

当期は多くの期初受注残や、工場関係向け強力吸引作業車、レンタル向け強力吸引作業車・高圧洗浄車等、引き続き好調な受注を背景に、期初から高水準の生産活動を維持いたしました。

他方で、競合の激化等による収益性の悪化があったものの、東日本大震災の影響で期初生産活動が停滞した前期に比べ、大幅に業績が向上し株式上場以来最高の売上高、利益を計上することになりました。

業積(数値)につきましては、前期に比べ受注高は493百万円増の7,451百万円(前期比7.1%増)、売上高は1,331百万円増の7,302百万円(前期比22.3%増)となりました。収益面につきましては、営業利益は2百万円増の440百万円(前期比0.5%増)、経常利益は28百万円増の488百万円(前期比6.3%増)、当期純利益は36百万円増の294百万円(前期比14.0%増)を計上することとなりました。

平成25年6月

社長交代について



山口会長(左)と佃社長(右)

平成25年6月20日開催の定時株主総会後の取締役会にて、昨年代表取締役専務に就任いたしました佃維男が代表取締役社長に、10年間代表取締役社長を務めてまいりました山口隆士が代表取締役会長に選任され、就任いたしました。

今後は佃新体制のもと、景気に左右されず安定的な収益を確保できる企業を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

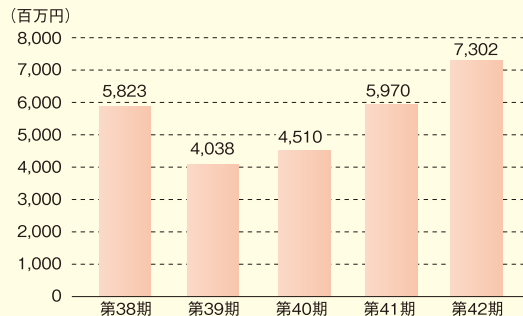
中期経営計画について

当社は、創業以来、環境整備機器、特に産業廃棄物処理機器の開発・設計・製造・販売を行ってまいりましたが、企業を取り巻く環境は常に大きく変化しております。

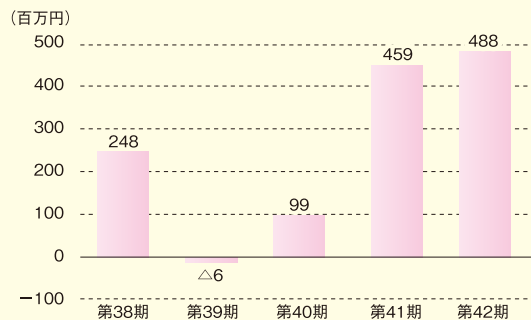
第43期から第45期までの3年間にわたる中期経営計画では、以下を重要方針として取り組んでまいります。

- ① 製品とサービスの進化と技術の深化による、顧客満足の上昇
- ② 新製品開発・新市場開拓による顧客ニーズへの対応と企業価値の上昇
- ③ 活力あふれる組織の創造

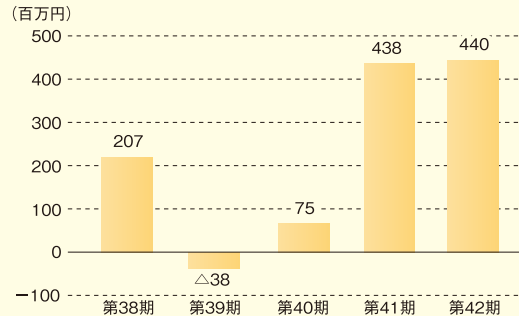
●売上高



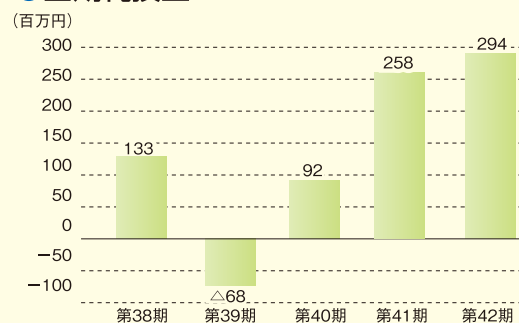
●経常損益



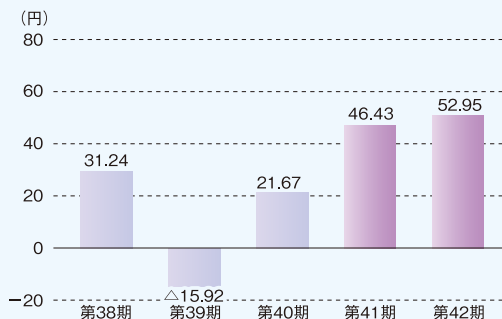
●営業損益



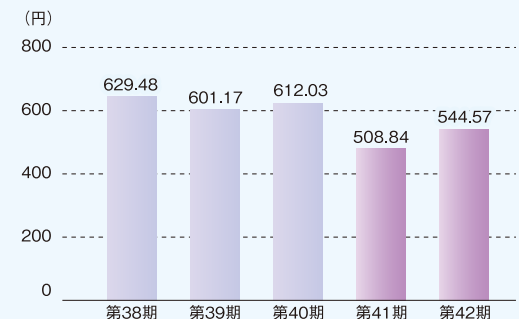
●当期純損益



●1株当たり当期純損益



●1株当たり純資産



■ = 平成25年4月1日付で普通株式1株につき普通株式1.3株の割合で株式分割を行っております。第41期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純損益及び1株当たり純資産を算定しております。

●貸借対照表

(単位:千円)

科 目	当 期 (平成25年3月31日)	前 期 (平成24年3月31日)
(資産の部)		
流動資産	3,755,635	4,049,549
固定資産	2,057,668	2,049,714
有形固定資産	1,786,480	1,758,059
無形固定資産	55,912	21,928
投資その他の資産	215,274	269,725
資産合計	5,813,303	6,099,263
(負債の部)		
流動負債	2,545,258	2,897,896
固定負債	240,847	372,788
負債合計	2,786,105	3,270,684
(純資産の部)		
株主資本	3,023,077	2,822,785
資本金	313,700	313,700
資本剰余金	356,021	356,021
利益剰余金	2,355,129	2,154,838
自己株式	△1,773	△1,773
評価・換算差額等	4,120	5,793
純資産合計	3,027,197	2,828,579
負債純資産合計	5,813,303	6,099,263

●損益計算書

(単位:千円)

科 目	当 期 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)	前 期 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)
売上高	7,302,455	5,970,497
売上原価	5,614,814	4,389,584
売上総利益	1,687,641	1,580,912
販売費及び一般管理費	1,246,927	1,142,428
営業利益	440,713	438,484
営業外収益	48,518	22,925
営業外費用	681	1,724
経常利益	488,550	459,685
特別利益	1,923	389
特別損失	77	7,538
税引前当期純利益	490,395	452,536
法人税、住民税及び事業税	175,363	194,891
法人税等調整額	20,667	△470
当期純利益	294,364	258,116

●キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科 目	当 期 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)	前 期 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	75,684	477,563
投資活動によるキャッシュ・フロー	△100,256	△122,661
財務活動によるキャッシュ・フロー	△126,105	△59,081
現金及び現金同等物に係る換算差額	923	△656
現金及び現金同等物の増減額	△149,754	295,163
現金及び現金同等物の期首残高	769,516	474,352
現金及び現金同等物の期末残高	619,762	769,516

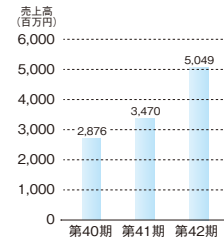
(注)記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

当社は環境整備機器の製造販売を行っています。
 その中でも産業廃棄物処理関係が主体であり、各種製品の用途及び売上推移は、次の通りです。

強力吸引作業車・汚泥吸引作業車 売上高 5,049百万円

工場関係向けの需要が引き続き好調に推移し、また東日本大震災からの復旧作業等へのレンタル向け需要もあり、受注・売上ともに前期より大幅に増加しております。

- 〈用途〉
- 廃棄物の収集運搬
 - 高深度地下の汚泥回収
 - 粉粒体の長距離吸引



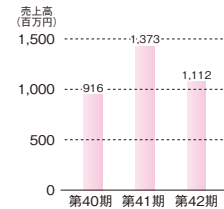
超強力吸引作業車(SS-13BWP)



強力吸引作業車(SM-04CVP)

新製品等／その他／部品販売・修理 売上高 1,112百万円

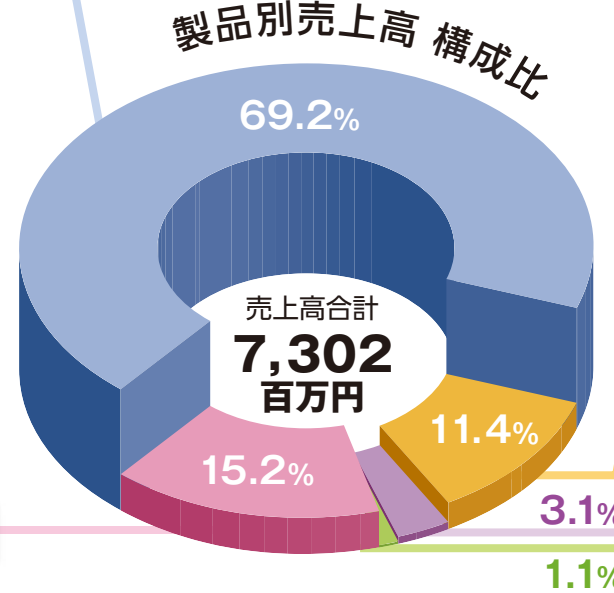
新製品やその他の区分に属さない製品及び部品販売・修理などが含まれています。
 当期は官公庁及び高速道路会社向けの「リサイクルコンピ(水循環式排水管清掃車)」が3台あったものの、大幅に減少しております。部品販売は堅調に推移し、受注・売上ともに増加しております。



水循環式排水管清掃車(CS-08DSPJ)



部品:ルーツブロワ



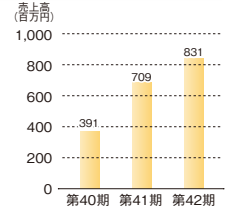
高圧洗浄車・ビルメンテナンス用清掃車・定置型高圧洗浄機 売上高 831百万円

東日本大震災からの復旧作業向け等、全般的に好調で受注・売上ともに前期より増加しております。

- 〈用途〉
- 下水道管の洗浄
 - ビル配管システムのメンテナンス
 - 熱交換器の清掃



高圧洗浄車(JS-04W1825A)



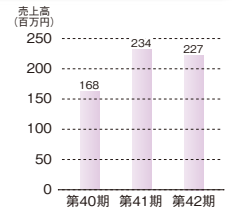
粉粒体吸引・圧送車 売上高 227百万円

製鉄・工場関係での需要が主体で、売上は微減となっております。

- 〈用途〉
- 石灰・セメント等粉体原料の回収・リサイクル
 - 焼却灰の回収運搬



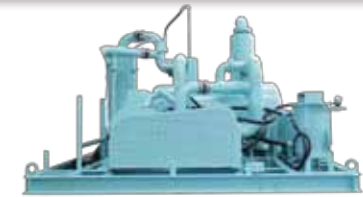
粉粒体圧送車(AR-13AYT)



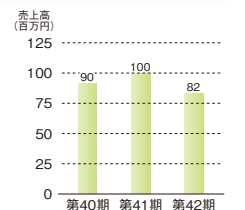
定置型吸引機 売上高 82百万円

当期は造船関係を中心に引き合いがあり、受注は横ばいであったものの、売上は前期より減少しております。

- 〈用途〉
- 塗装プラストの回収
 - 工場内清掃
 - フライアッシュの回収



定置型吸引機(EL-100SV)



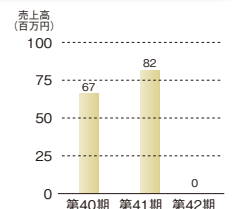
汚泥脱水機(車) (当期に売上はありませんでした)

多様な汚泥の脱水が可能な遠心脱水方式やベルトプレス方式他、ニーズに合った脱水システムを選択可能です。

- 〈用途〉
- 建設汚泥の脱水・リサイクル
 - 中間処理施設での脱水
 - 生コン汚泥の脱水・リサイクル



トンネル洗浄水処理車(SP-04DB)



乾湿切替吸引・圧送作業車 (SQ-16DVYT)

液体・粉体問わず吸引・圧送が可能な多機能型吸引・圧送車です。従来のブロワによる吸引・圧送機構に加え、圧送専用ポンプを搭載しており、高揚程の圧送が可能です。



粉体圧送専用車 (AR-16AYT)

ごみ焼却施設で発生した焼却灰を定置式吸引機と接続して回収し、運搬する専用車両です。バグフィルタ内蔵タンクと圧送ポンプで構成され、吸引装置は搭載していません。運搬した焼却灰は圧送排出して荷降ろしを行います。焼却灰はセメント原料として再資源化されます。



東南アジア向けに強力吸引作業車2台、高圧洗浄車2台を納入 (平成24年11月、ODAプロジェクト)

発展途上国における雨水・下水管は、清掃やメンテナンス不足により管内が土砂やゴミで詰まり、雨が降ると道路が冠水し、衛生上の問題も懸念されています。

納入時には、現地にて8日間にわたり、当社技術者による操作、保守点検、実作業等のトレーニングを行いました。街での7か所に及び実作業トレーニングでは、作業前、ほとんどの管が土砂やビニール、ペットボトル等で詰まっていて、汚水が流れない状態でしたが、大量のゴミを回収し、詰まりを除去することで汚水が流れるようになりました。



納入した製品▲

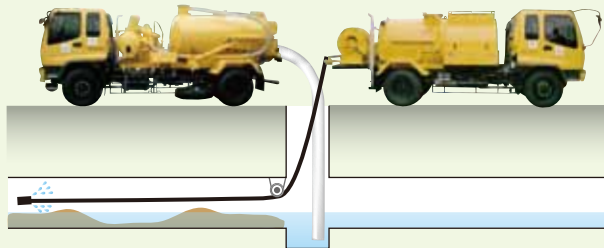


現地
トレーニング風景▶

清掃作業イメージ図

強力吸引作業車

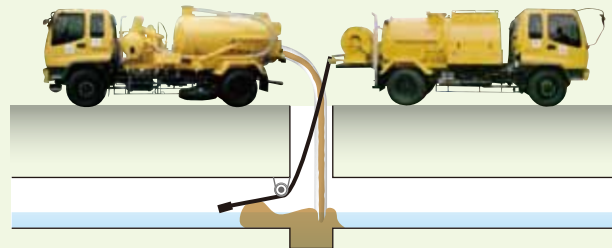
高圧洗浄車



① 高圧洗浄車で管に溜まった土砂、ゴミ等を集める

強力吸引作業車

高圧洗浄車



② 集まった土砂、ゴミ等を強力吸引作業車で吸い取る



マイクロ波抽出装置が 「第10回新機械振興賞 機械振興協会会長賞」を受賞



▲マイクロ波抽出装置の概要

マイクロ波抽出装置が平成25年1月24日に「第10回新機械振興賞 機械振興協会会長賞」を受賞しました。

「新機械振興賞」は一般財団法人機械振興協会により、わが国機械工業の振興に資することを目的とし、機械工業に係る優秀な研究開発及びその成果の実用化によって機械工業技術の進歩・発展に著しく寄与したと認められる企業・大学・研究機関及び研究開発担当者を表彰しているものです。

今回は、機械工業に係る関係団体、地方公共団体、国公立試験研究機関及び学会等から推薦された32件の応募の中から受賞した8件のうちの1つに選ばれました。

受賞対象となった理由は、『加熱対象物に対してマイクロ波を上方から照射する従来の方法ではなく、下方から直接照射することによって、対象物の量が変化しても制御を必要とせず安定的に加熱できる精油抽出装置を開発したこと』が評価されたものです。



▲賞状と盾

株式の分割と単元株式数変更について

【株式の分割】

目的: 当社株式の1株当たりの投資金額を引き下げて株式の流動性向上を図る

分割の方法: 平成25年3月31日を基準日として株主の所有株式数を1株につき1.3株の割合をもって分割

【単元株式数変更】

目的: 株主の当社株式の売買の利便性を図る

変更内容: 平成25年4月1日より単元株式数を1,000株から100株に変更

● 会社の概要

(平成25年3月31日現在)

設立年月日 昭和46年9月1日
資本金 313,700,000円
従業員数 159名
事業内容 強力吸引作業車、高圧洗浄車等
環境整備機器の製造販売

● 役員

(平成25年6月20日現在)

代表取締役会長 山口 隆士
代表取締役社長 佃 維男
常務取締役 山本 琴一
取締役 柳井 仁司
常勤監査役 中村 修身
社外監査役 西岡啓二郎
社外監査役 平井 雄一

● 事業所

(平成25年3月31日現在)

本社 〒781-5101 高知市布師田3981-7
TEL(088)845-5511 FAX(088)845-5211

明見工場 〒783-0007 高知県南国市明見913-11
TEL(088)864-1506 FAX(088)864-1167

技術センター 〒783-0007 高知県南国市明見898-20
TEL(088)864-1771 FAX(088)864-2032

東日本支社
東東京支店/ 〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町20-1
西東京支店 アンソレイエ・オオタ6F
TEL(03)3667-7330 FAX(03)3667-7333

東北北海道支店 〒982-0012 仙台市太白区長町南4-12-27 NS泉崎2F
TEL(022)248-2991 FAX(022)248-2995

札幌営業所 〒004-0041 札幌市厚別区大谷地東1-3-23 山勇ビル2F
TEL(011)893-0861 FAX(011)893-0860

名古屋支店 〒452-0809 名古屋市西区花原町40
TEL(052)501-3171 FAX(052)501-3095

西日本支社
大阪支店 〒566-0064 大阪府摂津市鳥飼中2-2-43
TEL(072)653-1136 FAX(072)653-1350

中四国支店 〒739-0026 広島県東広島市三永2-8-16 太田ビル1F
TEL(082)426-2131 FAX(082)426-2133

福岡支店 〒810-0001 福岡市中央区天神3-10-1 天神源氏ビル6F
TEL(092)761-7761 FAX(092)761-7760

● 株式の状況

(平成25年3月31日現在)

会社が発行する株式の総数 13,520,000株
発行済株式の総数 4,276,043株
(自己株式3,957株を除く)
株主数 611名

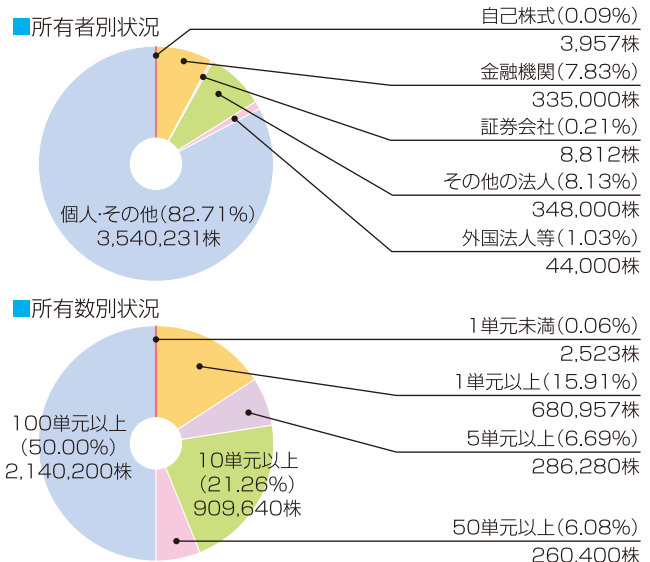
大株主

株主名	持株数	持株比率
兼松エンジニアリング従業員持株会	422,000株	9.87%
三谷浩溢	327,200株	7.65%
山本琴一	326,000株	7.62%
株式会社扇港鋼業所	251,000株	5.87%
山口隆士	239,640株	5.60%
山本吾一	202,200株	4.73%
柳川裕司	152,200株	3.56%
株式会社四国銀行	117,000株	2.74%
坂本洋介	102,960株	2.41%
板垣周一	83,000株	1.94%

(注)持株比率は、自己株式(3,957株)を控除して計算しております。

● 株式分布状況

(平成25年3月31日現在)



●株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 毎年3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所

大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先)※ 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)※ ☎ 0120-782-031

〈※平成25年1月より、郵便物送付先・電話照会先が上記のとおり変更となっております。〉

(インターネットホームページURL)

<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法 電子公告(当社ホームページ URL <http://www.kanematsu-eng.jp/>)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

上場証券取引所 大阪証券取引所市場第2部 (なお、東京証券取引所と大阪証券取引所の統合に伴い、平成25年7月16日から東京証券取引所市場第2部となる予定です。)

K&E 兼松エンジニアリング株式会社

KANEMATSU ENGINEERING CO.,LTD.

本社 高知市布師田3981番地7 TEL.(088)845-5511 FAX.(088)845-5211
<http://www.kanematsu-eng.jp/>



このビジネスレポートは、環境に配慮し、再生紙と大豆油インキを使用しております。